

Q3 「人的環境について」の意見

① 学校教育において、1クラスの人数は何人が適当だと思いますか？小中学校それぞれお答えください。



小中学校それぞれ11～15人と答えた方の意見

- ・一人ひとりの学力に力を入れられるため。
- ・人数が少ないクラスだと先生の人数の問題が発生する。また、多すぎても目が行き届かない気がする。

小学校11～15人 中学校16人～20人と答えた方の意見

- ・小学校は少数クラスにすると細やかな対応、クラス運営が出来るのではないかと。
- ・先生の目が届く範囲。
- ・一人ひとりに目が届くようにしてほしいので。
- ・少人数制にすれば目が行き届きやすくなり、今よりもっと共生社会の実現、可能性を広げられると思う。
- ・自分の子どもの（現在の）クラス人数だから。

小中学校それぞれ16～20人と答えた方の意見

- ・少人数の方が勉強の理解力が高まるような気がするから。
- ・先生の指導が行き届くから。
- ・きめ細やかな指導が出来ると思うから。
- ・少人数で子ども達に目が行き届くように。
- ・教員が一人ひとりへの細やかな指導。支援が可能であり、子ども自身も教室内でのびやかに過ごすことが出来る人数であると感じるから。
- ・少人数クラスの方が成績優秀な子が多い、川谷や五箇は白河高校の進学率が他の学校に比べて高い。
- ・生徒数にもよるが、何人いても学力の差はあります。そこで出来ない子が多動気味になって緊急保護者会を開くほど問題になったこともあります。個人レベルで対応するのは困難だが、「グループわけはあった方が成長するのかな？」とも感じています。それも、先生が変わればクラスも変わったので、指導力なのかなとも感じました。

大木えりは女性として若い世代の代表として、子育て中のママとしての視点から市政をチェックしてまいります。暮らしのことでご要望がある方はお気軽にご連絡ください。



- ・少なすぎても先生方が完璧を目指してしまう、子ども達にとって要求しやすい環境になってしまうから。
- ・私自身、育った小学校のクラスが少なくて嫌で転校した。

小学校16～20人 中学校21人～25人と答えた方の意見

- ・生徒一人ひとりに目が届いてほしいから。
- ・先生1人がより一人ひとりに寄り添えると思う。少なすぎても活気がないので、15～20名位がいい。
(小学校)
- ・子どもが保育園の時、年長組18人に担任1人支援員1人で目が届いていると思っていました。最近発達障がいのお子さんも普通学級にいらっしゃると思うので、上記の人数が適切かと思いました。

小学校16～20人 中学校26人～30人と答えた方の意見

- ・学習だけではなく、子どもの性格、個性等もよく理解して指導してほしいので、少人数で一人ひとりをしっかり見てほしい。
- ・小学校の特に低学年では学力以上に児童の集中力に差があるように感じます。現在は30人前後のクラス編成ではありますが、先生方の教育のしやすさや目の行き届き、また児童同士の間隔や関わりの距離感的には1クラス16～20人が良いのではないかと考えます。

小中学校それぞれ21～25人と答えた方の意見

- ・多すぎない人数で担任の先生にみてもらいたい。
- ・1人の先生がしっかりクラスの勉強、生活、人間関係を見れるにはやはり、人数が今は、多すぎると感じます。ですので、小学校低学年とかは、さらに少ない人数で基礎をしっかり見てほしいです。
- ・子ども一人ひとりの学習能力、体力等を把握した学習をすること、また子ども同士の意見交流の機会の確保（少なすぎると交流の多様性が減る）をしたいから
- ・あまり少ないと人間関係の形成に足りない部分があると感じる。30人以下程度が適切と感じる。
- ・先生方の人員が減っていること、昔は40人近かった。

小学校21～25人 中学校26人～30人と答えた方の意見

- ・個別に対応できてないのが現状だから
- ・担任の先生が各個人に目が届く許容人数。先生の負荷を考慮して
- ・小学生は少人数で見てほしい。

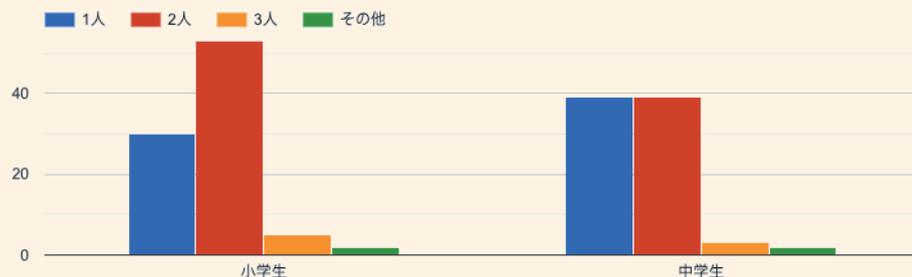
小学校26～30人 中学校36人～40人と答えた方の意見

- ・小学校低学年の間は少人数が良いが、学年が上がれば増やしてもいいと思います。



Q3 「人的環境について」の意見

② 1学級の担任の数は何人が適当だと思いますか？



小学校、中学校ともに1人と答えた方の意見

- ・少人数であれば1人で十分
- ・補助が必要な子がいる時は2人。最近は子どもに甘い教育になっている傾向があると思うから
- ・担任は1人でもいいと思うが、サポートの先生などがいると安心です。
- ・複数いると方針がぶれそう。親としても誰に相談すればいいのかわからなくなりそう。
- ・教員不足なので
- ・先生が抱えられる生徒の数は何人なのか知りたい
- ・担任の数は1人でもいいと思いますが、小学校では担任の先生が全ての学科を教えるより、中学校と同じように各専門科目で担当したほうが良いと思います。複数の先生でクラスの授業を受け持つ方が、負担も軽く指導の偏りもなくなるのではないかと思います。

小学校が1人、中学校が2人と答えた方の意見

- ・中学は受験を控えているから担任は2人いた方がよいと思いました。

小学校が2人、中学校は未回答と答えた方の意見

- ・人数の多い学級は2人いてもいいかと思う
- ・様々なことがあり、1人では先生の負担が多い。

小学校がその他、中学校が1人と答えた方の意見

- ・低年齢は月齢によってスピードが違ったりするから2人（副担任）いた方がよい。

小学校が2人、中学校が1人と答えた方の意見

- ・小学校は1クラス2人ついてほしい。高学年でもサブの先生は欠かせないと思う。

大木えりは女性として若い世代の代表として、子育て中のママとしての視点から市政をチェックしてまいります。暮らしのことでご要望がある方はお気軽にご連絡ください。



- ・ 中学になると、教科担任制になることや部活の先生など、普段から多くの先生と関わる機会があるので、担任は一人で大丈夫だと思う。
- ・ 小学校1～2年の間は担任が2人ついてくださると集中力のない子や、意見や困りごとを言いにくい子のサポートをしていただけそうなので

小学校、中学校それぞれ2人と答えた方の意見

- ・ クラスの人数にもよると思うが、サポートしてくれる先生が他にいてくれるだけで、授業中目が届きやすく、また分担出来ることで先生方の負担も減るのではないかとと思います。
- ・ 理解していない児童へのサポートが出来る。
- ・ 1人の先生が何かあった場合もう1人の先生が対応できる。担任がどんな理由でも途中でかわってしまうのは子どもたちがかわいそう。
- ・ 先生方の家族の都合や産休など急な休みを取るようになった場合に担任が2人いれば子どもが不安になることがない。担任を2人にすることができないのならば、余裕をもった先生の人数にしてほしい。
- ・ 複数人で担当すれば、先生も休みやすくなる。また、教師の不適切な指導が問題になることもあるので、相互チェックできると思う。
- ・ 1人では限界があるのと、担任が複数いた方が担任と人間的に合わない性格の子が救われるので。
- ・ 授業で質問があるときにすぐ聞けるから
- ・ 担任2人配置+学習支援員1人が望ましいと思います
- ・ 一人に付きっ切りでは他の生徒を見られない。
- ・ タイプ性別等違う先生が担任なら、相談などがしやすそう
- ・ 1人で様々な家族環境にある生徒、保護者に対応するのは困難な時代だから。書き物文書も前よりも増え、事務仕事が多く授業準備が追いついていない。

Q4 特別支援学級について何かあればお答えください。(自由回答)

小学校

特別支援における支援の質について

- ・十分とは言えない状況、ただ、中学校よりは介入して頑張ってくれていると思う。内容は担当の先生、学校により変わってくる。大変だからこそ、人数・専門的な知識が必要と感じる。
- ・上の子が通っていたころ、新しく支援学級ができましたが、先生は支援学級で教えた経験のない先生で、環境も整っているとは言えませんでした。専門的な知識をもった先生が必要だと思いました。
- ・私の子どもは支援クラスに通っています。同じ学校でも白一小は跳び抜けて共生社会の実現が出来ていると感じました。どんどん子どもの可能性が伸び、当たり前存在が確立する関わり方なので、通級する普通クラスの一員として認められることで友達も増え、そこからまた新たな可能性と自信が本人の中で生まれるのを実感しました。モデル校として見るだけでなく、他校も同じような意識改革をするような考えを市教育委員会がしっかりと取り組まないといけないと思います。学区があるならばどこに通っても同じでないとおかしいと思います。
- ・最近、特別支援学級の人数が増えている一方で、専門的な知識を持った教師が少ないと感じます。支援学級を受け持ってから発達障がいについて勉強したり、子ども達との接し方を工夫してくれる先生方がほとんどですが、可能なら全ての教師が障がいについて学び、配慮が必要なケースがあることなどを学ぶ機会があると嬉しいです
- ・交流学級に無理に行かせようとしていないか心配。集団の中に居させることが大切ではなく、生徒の気持ちに寄り添って、自尊心、自己有用感をしっかり育ててからでないと、挫折したり、逃げ出したりしてしまう。
- ・サポートの強化をしていただきたいです。語学なら本人の意見をエコー機能化、筆記であればボイスにて転記化等の機器を導入して頂き、他の児童と同様に学んでいただきたいです。
- ・障害がある子どもがその子にあった環境で生活がおくれるように特別支援学級には力を入れてもらいたい。発達障がいがある子どもで攻撃的な子どもにはクールダウン（冷静）をさせるための部屋があるといいのではないかな。

特別支援学級に入るまでの過程について

- ・うちの子はいわゆる狭間の子どもです。何度か小学校や教育委員会に相談しましたが、障がいが軽いからというあいまいな回答で普通クラスに通っていました。小学校の授業についていけず、だいぶ学習面で遅れがでてしまいました。小学校から支援学級で、少人数で勉強が出来ていれば進路ももう少し選択肢が広がっていたかとも思います。
- ・通常学級に所属する子どものうち、要支援傾向の子どもを、新年度が始まったばかりなのに早く特別支援学級に入れようとする思いが先生によっては強い。そして雑だという話を聞いている。もっと子どもの側、保護者の側に立って丁寧に対応すべき。



特別支援学級の設置または人員配置について

- ・各学校に設置するべき
- ・現在特別支援学級でお世話になっています。支援の方を出来たらもう少し増やしてほしいです。
- ・入れる人数と先生を増やしてほしい
- ・今年から関辺小学校にやっと支援学級が出来ると聞き、安心した。
- ・子どもが特別支援学級に通っています。1クラス7人で1年～6年の子どもがいます。担任は1人、支援員1人、週3日の方が1人です。通常学級に比べれば、行き届いていそうに感じますが、子ども達の障がいも様々で親の視点から見ると先生が足りないと思います。先生の都合で担任が変わったこともあり、先生のやり方もその都度変わる。子ども達は慣れるのに大変だと言っています。

特別支援に関する考え方について

- ・支援が必要なお子さんとそうでないお子さん、共に認め合って共存していくのが理想だと考えますが、保護者も偏見を持ったり、お子さんの特徴をマイナスととらえ、他者に伝えたくない、隠したいというところで。子どもの世界ではいじめがあったりするのが現実だと思います。先生方もいじめを怖がり、余計なことは伝えないというスタンス。全てをオープンに出来たら、子どもは「この子はこういうのが苦手なんだな」と理解していじめたりしないと思うのだが。まだまだ教員も当事者も他の保護者、子ども達も、支援が必要な方のことの理解が足りないと思う。自分も含め！

その他

- ・子ども達に周知されてないので、ちゃんと教えてほしい。
- ・特別支援学級だけでなく、白河市にも療育が出来る施設を作してほしい。グレーゾーンの子が増えている今、郡山や那須まで通う。なかなか予約が取れない状況を解消してほしい。

中学校

特別支援における支援の質について

- ・中学校に行ったら大変と話を聞く。あまり積極的なサポートは望めなさそう。
- ・教科担任制のため、まず時間割が組めないという問題から単位の話がされました。支援クラスには様々な学年の子がいるため、普通クラスと全く同じこと（調理実習や縫製、技術など）はできないと学校から説明されました。入学前の入学審議会時の話し合いでは学校や市教育委員会からそのような説明はありませんでした。自分の子どもがそのような扱いを受けることに私はいい気分は出来ません。白河市は障がい児教育に対してまず意識面から変えていかないと共生社会の実現にはほど遠いと思います。
- ・小学校の支援学級の子ども達は所属学年の交流学級で行う活動が多いようですが、中学校では交流学級の中で、一緒に活動する機会がほとんどないと聞きました。支援学級の生徒それぞれの特性にもよると思い



ますが、希望すれば、教科によっては一緒に学ぶなどもあっていいと思います。

- ・障がいの受容を丁寧に行っているか。どのようにすれば生きやすくなるかを自分でわかると良い。

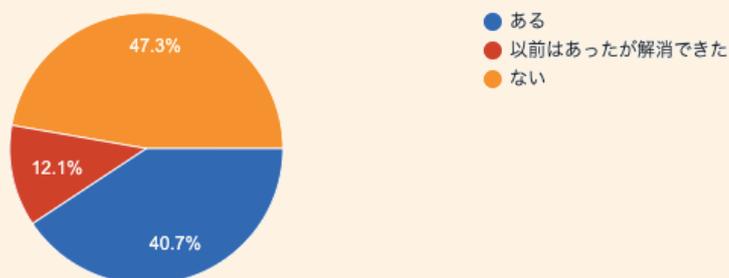
特別支援学級の設置または人員配置について

- ・各学校に設置すべき
- ・各生徒のレベルに合わせた社会人に向けての必要な学力を身につけられるようワンマン対応できるサポート専門が複数名いる体制にしていきたいです。

大木えりは女性として若い世代の代表として、子育て中のママとしての視点から市政をチェックしてまいります。暮らしのことでご要望がある方はお気軽にご連絡ください。

Q8 心配事、悩み事について

① お子さんの学校生活において、不安なことや心配なことはありますか？



「ある」と答えた方の内容

【人間関係】

- ・友達とのコミュニケーションが上手くいなくて関わりが上手くいかない時がある。
- ・支援学級がない学区の子どもとなじめないようでトラブルが絶えない
- ・友達関係の心配事…2名
- ・人間関係、いじめなど

【学習面、学校生活について】

- ・勉強
- ・学習についていけるか
- ・部活と勉強の両立
- ・集団の中でルールを守れるか
- ・勉強が苦手で、授業に全くついていけない
- ・自分の子どもには発達障がいがあるが、普通学級に通います。みんなと一緒に行動することがうまくできるのか、トイレにきちんと行けるのか、給食を食べることに支障はないか、色々気になります。幼稚園では先生からかなりサポートを受けていましたが、小学校では1人ひとりに時間をかけるのは難しいと思うので、心配です。

【学校について】

- ・統合について…2名
- ・部活動のあり方
- ・人数が少なすぎる場所
- ・先生が目が届かない。貧富の差で学力や運動に格差がある
- ・1クラスの人数が増えたことによる変化。

大木えりは女性として若い世代の代表として、子育て中のママとしての視点から市政をチェックしてまいります。暮らしのことでご要望がある方はお気軽にご連絡ください。



【子どもを取り巻く環境について】

- ・登下校の一人区間
- ・学校まで遠すぎる
- ・会津町で第一小学校の学区だが、家から学校まで2km以上の距離がある。学区外である第二小学校までは900mなので、二分の一以下の近さである。市役所へ相談に行ったところ、「前例がないと難しい」との回答だった。自由学区の制度を取り入れて子どもが通学しやすくしてほしい。
- ・児童クラブに入会できないので、帰宅時間の対応について
- ・児童クラブを何年生まで利用出来るか心配
- ・日本の中学生の睡眠時間が他国と比べて少ないと聞いています。部活動と勉強で睡眠時間が不足するのは心配です。（市内のある小学校では7時前のバスに乗ります）
- ・マスクの健康被害

【特別支援について】

- ・特別支援学級でお世話になり、皆さんに迷惑をかけていないか心配です。
- ・初めて支援学級が出来て通うことが出来ていますが、初めてという事で先生も探り探り取り組んでくれています。ただ専門の施設の方にもっと協力してもらおう体制をとってほしいです。
- ・支援クラスでは常に学校の先生から保護者に“人手が足りない話”をされ、要支援な子どもだからそこに所属しているにも関わらず不満を感じています。なぜ普通クラスで手のかかる子は対応が優先されるのかわからないです。子どものことを考え支援クラスを選択したことが間違いだったのではないかと時々迷いがあります。
- ・障がいや頭では理解していても行動出来ない先生は意外と多いです。誰でも何にでも得意不得意があります。子どもの多感な時期に、自分を理解してもらえない先生と1年間いなければいけないのはキツイかと思えます。

【その他】

- ・現在不登校で学校に置いてきぼりにされている。別室も、部屋がないと校長より説明あり。
- ・小学校の遠足、楽しい行事が減って可哀そうです。経験を通して成長すると思うので、コロナもありますが、例年通りに戻してほしいです。コロナ前も、2020教育指針変更に伴い、2年連続で遠足がなくなり、登山やアクアマリン、スペースパークに行けていません。（市内小学校5年生）
- ・エスカレート（SNSなどで）していく誹謗中傷、パワーハラスメントや学校へのモンスターペアレント等の増大、常識を超えた苦情や嫌がらせ。また、増え続ける先生方の犯罪や事件も、また生徒を預かる責任ある立場から考えて現代社会の大きな問題になっているところ
- ・ADHDグレーゾーンのため、このままの幼稚園でいいのか悩んでいる。週一で郡山に通わせたらと幼稚園から提案されたが、一人親のため仕事をしなくてはならないので現実的に無理である。



「以前はあったが解消できた」と回答を頂いた方の内容**【人間関係】**

- ・新しい友達との関わりに悩んでいましたが、なんとか解決し、今は楽しく通っています。
- ・小学2年生の時、机に落書きが流行った。「死ね」や不適切な言葉。
- ・友達と上手く付き合えなかったが、先生のおかげで前向きに進んだ。

【学習面、学校生活について】

- ・子どもが学校に行きたくないと言っていた。
- ・子どもの忘れ物や、先生の話の聞かなかったこと。

【子どもを取り巻く環境について】

- ・通学距離が長く、体力が持つか心配だったが、通ってみたら体力がついて、取り越し苦労だった。

【特別支援について】

- ・子どもがADHDで、通っている小学校内でADHD専門の特別支援が受けられないでいたが、今年度から他校へ通級することが決まった。
- ・支援学級内でケンカが絶えず、うちの子は怒った人の声や表情を見るとつらくなってしまい、学校に行くのがつらい時期がありました。今は子ども達も成長し、自分達でケンカになる前に回避しようとする時もあるし、うちの子が慣れてきた部分もあり、何とか折り合いを付けてやっています。

